

「本人が望む暮らしの実現」を目指した ケースマネジメント研修会

超高齢社会におけるニーズの変化に対応するため、国は、地域包括ケアシステムの構築を推進しています。その目的は何か。それは、「たとえ要介護状態や認知症になったとしても、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるようにすること」にあります。そのため、要支援・要介護者に対応する専門職には「**本人が望む暮らしの実現**」を目指した関わり方が求められることとなります。

ただし、要支援・要介護者は、様々な領域に課題を有しています。また、時間経過とともに、課題や本人の思いも変化していきます。そのため、医療・介護関係者には、本人の全体像（人物像・状態像）を俯瞰した上で、最終ゴールである「本人の望む暮らしの実現」に向け、現状と今後の見通しをもとに課題と短期目標を設定し、目標達成に向けた各々の役割を理解し、対策を講じていくといったマネジメントを展開する力が必要となりますが、こうした思考や手法が十分身に付いているとは言い難い状況かと思えます。

そこで、今回、望む暮らしの領域、連携対象が異なる3つのケースをもとにケースマネジメント研修会を行います。研修会では、①本人の全体像をどう捉えるか、②望む暮らしの実現に向けて、どのような対策を講じていくかに焦点を当てたグループワークを行った後、当大学及び外部講師による解説と意見交換を実施していきたいと思えます。

本研修が、本人の意向や思いを中心としたマネジメントや介入方法の学びに少しでもつながれば幸いです。

ZOOMによるオンライン開催

定員
30名
各回
(申込み順)

| 回 | 日時・テーマ |
|-----|---|
| 第1回 | 2021年10月2日(土) 13:00~16:30 誤嚥性肺炎の入院治療後の方の「好きなものを食べたい」という思いを実現するために |
| 第2回 | 2021年10月9日(土) 13:00~16:30 在宅で生活するパーキンソン病の方の「喫茶店に行きたい」という思いを実現するために |
| 第3回 | 2021年10月23日(土) 13:00~16:30 脳卒中による片麻痺の方の「復職したい」という思いを実現するために |

お申込み

入カフォーム(QRコードまたは以下URL)からお申込みください。
申込み切後、受講決定メールをお送りいたします。



<https://business.form-mailer.jp/fms/d759b134150237>

※お申込みの際にご登録いただいたメールアドレスは、本学で開催するシンポジウムやセミナー等のご案内に利用させていただく予定です

対象：サービス提供、マネジメント・各種計画策定に関わる保健医療福祉専門職

受講料：1,000円/回(振込方法については受講決定メールにてご連絡いたします)

申込み切：2021年9月18日(土)

第1部 講義

研修の背景とねらい（国の施策動向を踏まえて）

川越 雅弘（埼玉県立大学大学院・研究開発センター 教授）

第2部 事例検討

グループディスカッション

①全体像をおさえよう

②本人が望む暮らしの実現に向けた対策を考えよう

第3部 解説編

質疑応答・意見交換

【Zoomでの受講に際し、お願い】

- 研修にはグループ討議も含まれますのでインターネット環境を含めた受講環境をご確認ください。
- プログラム中はビデオをオン、マイクをオフにしてください。グループ討議を含みますので、担当者の指示に従い、設定を変更してください。
- Zoomで表示されるご自身のお名前の確認をお願いいたします。出欠確認をいたしますので、参加登録時のお名前と異なる場合は変更をお願いいたします。
- 1メールアドレスにつき、1名のみ参加が可能となります。1メールアドレスを複数人で使用することはできませんのでご注意ください。